

動物たちと生きる道

# 救いの手



## 動物たちとともに生きる

**あ** なたにとってペットの存在とは――。「生活を豊かにしてくれる存在」「欠かすことができない家族の一員」「心を許すことができるパートナー」いろいろな考え方があろうが、ペットとともに暮らしている皆さんにとってその存在が大事であることは間違いのないと思います。

そんな愛情たっぷりの環境に恵まれた動物たちがいる一方で、愛情に恵まれずに厳しい環境の中で、人知れず生きていく動物たちもいます。食べ物も満足に得られず、けがや病気とも隣り合わせ、人間に迷惑をかければ疎ましい存在として排除され

る。そんな悲しい境遇にいる動物たちに救いの手を差し伸べ、ともに生きる皆さんと救われた動物たちの姿を特集として取り上げて、今月号ではご紹介します。

## 三重県内での犬猫捕獲状況

**菰** 野町が含まれる三重県桑名保健所管内での犬の捕獲頭数は近年では年間50〜90頭で推移しており、猫の引き取り数は令和2年度から100匹以下に減少しています。また、三重県内の犬猫の殺処分数も平成26年度には1600頭以上ありましたが、令和4年度には年間100頭ほどに急激に減少しています。殺処分に至った頭数に関して

は、さまざまな理由で保健所に保護・収容された犬や猫が次の飼い主へと巡り合うことができるよう平成29年5月に開設された施設です。施設には獣医師の職員が勤務しており、県内の各保健所から収容されてくる譲渡対象の犬猫の健康チェックをしたり、ワクチン接種やマイクロチップの装着などの処置をすることで収容された犬猫が、新たな生活をスタートできるようにサポートしています。また、譲渡犬の基本的なトイレや散歩のトレーニング、動物愛護教室なども開催し、譲渡された動物が自然に人間の生活に溶け込んでいけるような活動も行っていきます。

# 動物を飼うということは その生涯にどう向き合っていくか 考え続けるということ

も治療の見込みがない病気などを理由にしたものが多く、この殺処分数の推移は各保健所の尽力や地域での譲渡会の実績の表れでもあります。

## 動物愛護の県内拠点施設

**ど** れだけ手を尽くしても、飼いたい主がいらない犬や猫の存在は0にはなっていない。そんな犬や猫の存在に救いの手を差し伸べる拠点



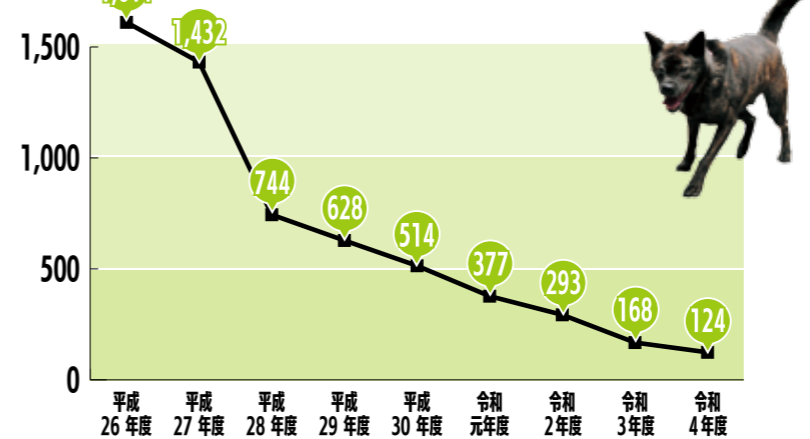
**三重県動物愛護推進センター あすまいる**  
住所 三重県津市 2438-2  
開館時間 9:30～16:30  
休館日 水・土(祝日を除く)、祝日の翌平日、年末年始  
TEL 059-253-1238  
FAX 059-253-1525

施設が「三重県動物愛護推進センターあすまいる」です。あすまいるは、さまざまな理由で保健所に保護・収容された犬や猫が次の飼い主へと巡り合うことができるよう平成29年5月に開設された施設です。施設には獣医師の職員が勤務しており、県内の各保健所から収容されてくる譲渡対象の犬猫の健康チェックをしたり、ワクチン接種やマイクロチップの装着などの処置をすることで収容された犬猫が、新たな生活をスタートできるようにサポートしています。また、譲渡犬の基本的なトイレや散歩のトレーニング、動物愛護教室なども開催し、譲渡された動物が自然に人間の生活に溶け込んでいけるような活動も行っていきます。

## 新しい飼い主へと繋ぐ

**犬** は平均10頭程度、猫は多い時には40〜50匹をあすまいるで

三重県の犬猫の殺処分数(頭数)



▼開設から約6年を迎えたあすまいるの犬舎ですが、常に清潔に保たれ、犬猫の状態にあわせた餌の管理などが徹底されています。



▲施設内には、健康チェックや譲渡までの予防接種などを行う診療室も備えられ、動物たちの治療にも対応できるようになっています。

収容しています。近年のあすまいるでの犬猫の収容数は減少傾向にあるものの、三重県内の全ての保護犬や猫などを収容できる余裕はなく、譲渡に要する時間などもあるため、限られた頭数に対処するしかない実情もあります。そのような状況で欠かさない存在であるのが、各地域で活躍する動物愛護ボランティアの皆さんです。

誰に知られることもなく  
ひっそりと生活する動物たち  
現代社会の中に産み落とされた  
よりどころのない動物たちに  
救いの手を差し伸べる――

三重県桑名保健所  
衛生指導課

主幹(獣医師) 濱口太志さん



三重県では動物愛護管理推進計画に基づき、殺処分頭数なるべく0になるよう近づけてきました。三重県動物愛護推進センター「あすまいる」とも連携し、積極的な譲渡を進めていますが、引き受ける頭数にも限度があります。そのため、地域のボランティアの皆さんと協力して動物たちが悲しい結末を迎えないよう努めています。

## あすまいるでの譲渡数

年度	犬	猫
2017年	109頭	242匹
2018年	143頭	308匹
2019年	108頭	272匹
2020年	74頭	293匹
2021年	55頭	234匹

三重県動物愛護推進センター  
あすまいる

所長(獣医師) 佐々木友美さん



犬や猫を飼うということは、その生涯にどう向き合っていくか考え続けていくことだと思います。あすまいるでは、譲渡に向けて時間を要する手続きも多く、譲渡のための条件などもあります。全ては飼い主としての責任を重く受け止めてもらうためです。そのような手続きを経て1頭でも多く、誰かのもとへあすまいるの動物たちを届けてあげたいと考えています。